

【美術・中2・「響き合う言葉と絵」】①

育成を目指す資質・能力（題材の目標）

自分の大切にしている物の形や色彩の特徴や美しさを基に主題を生み出し、自分の思いを基に詩と合わせて画面構成し表現方法を追求して創造的に表すとともに、作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫について考えるなどし、表現したり鑑賞したりする活動に取り組む。

ICT活用のポイント

- ・構想を練る場面における写真撮影機能を活用した画面構成の試行
- ・表す過程における技法動画の視聴

【出会う】

（参考作品の鑑賞）

【試す・広げる】

（発想・構想）

【表す】

（水彩絵の具を使用した絵
画表現）

【振り返る】

（完成作品の鑑賞）

事例の概要

【事例におけるICT活用の場面①】

【試す・広げる過程】

- ・ICT端末の写真撮影機能を活用し、自分の表現意図に合った対象物の配置と詩を書き入れる位置を考える。その後、下絵の制作に入る。

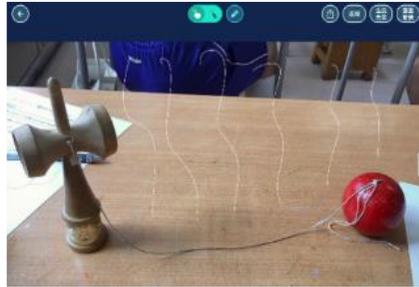
【事例におけるICT活用の場面②】

【表す過程】

- ・主題に合った表現方法の工夫をするために、水彩絵の具の様々な技法の動画を自分が必要な時に何度でも動画再生して視聴する。
- ・学習線ソフトを活用し、制作途中の作品の相互鑑賞を行う。
- ・ICT端末で制作途中の作品を撮影し、学習の蓄積を行うとともに、自己の学びを振り返る。

【美術・中2・「響き合う言葉と絵」】②

【事例におけるICT活用場面①】



【試す・広げる過程（発想・構想）】
における、タブレットの写真撮影機能を
活用した画面構成

（試す・広げる過程）

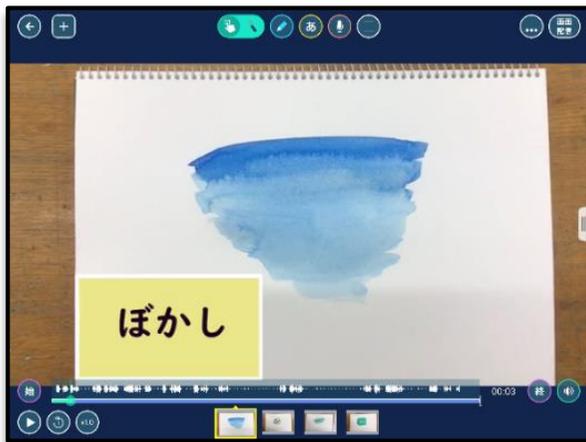
【事例におけるICT活用場面①】

タブレットの写真撮影機能を活用し、自分の表現意図に合った対象物の配置と詩を書き入れる位置を考える。

＜生徒や教師にとってのICT活用のメリット＞

- （生徒） 写真を撮影することにより、瞬時に画面のイメージをもつことができたり、何度でも繰り返し試行することができ、主題に合った画面構成を考えることにつながる。
- （教師） 生徒が撮影した写真を活用し、評価や指導に生かすことができる。

【事例におけるICT活用場面②】



【表す過程】における技法の動画視聴

（表す過程）

【事例におけるICT活用場面②】

主題に合った表現方法の工夫をするために、水彩絵の具の様々な技法の動画を自分が必要な時に何度でも動画再生して視聴する。

＜生徒や教師にとってのICT活用のメリット＞

- （生徒） 必要な時に必要な動画を繰り返し視聴することができ、個別のニーズに合った学習ができる。
- （教師） 様々な技法を一度動画に撮影・保存しておくことで、繰り返し生徒に説明する必要がなくなり、その分の時間を個別の支援に費やすことができる。

【活用したソフトや機能】 ICT端末のカメラ機能 動画編集ソフト